

全力を出し切った運動会!



9月22日(木)にたくさんの来賓と御家族、地域の方々に参加していただき、平成28年度の秋季大運動会を無事終えることができました。

今年は例年になく台風が多く、9月に入ってから12号、13号、16号と3つの台風が襲来し、特に16号は速度も遅く、また宮崎県内に多大な被害をもたらしたこともあり、直前まで実施できるかどうか本当に気をもみました。しかし、当日は日差しもあまりなく涼しく絶好の運動会日和で、子供たちは持てる力を存分に発揮できまし



た。短い練習期間でありましたが、精一杯がんばったと思います。御声援ありがとうございました。



御来賓からは、「小優勝旗を受け取る時の『ありがとうございます。』の声元気よくて気持ちがいい」ということや、「行進の腕の振り方が素晴らしい」「係の児童がきびきびしている」等おほめのことをいただきました。



「子育てにもビジョンを」

9日(金)に、かおる幼稚園の参観日に30分ほどの講話の機会をいただき、「子育てにもビジョンを」という題で次のようなお話をさせていただきました。

「これから50年先の世の中は誰にも想像できない」と文科省は言っています。AI(人口知能)が開発された今、「今ある仕事の60%はなくなる」「ほとんどの仕事が自動化される」とも言われているからです。つまり、私たちや今の保護者が育つ上で得た経験や価値観が全く当てはまらない世界が待っているのです。

そのような中で必要なのは、どんなに世の中や状況が変化しても生き抜いていける力、つまり、「適切に判断し、考えて、行動できる力(活用する力)」です。学校では、今、授業を通して子供にその力を身につけようとしています。

子供が将来どのような人間になって欲しいのか、どのような職業に向いているのか。親がビジョンをもって育てることがこれから先は大事になります。少なくとも高校受験の際に子供が自分で将来を見据えた選択ができるような知識を与えたり、経験をさせたりすることを考えていかなければ、高校や大学を卒業すればなんとかなる時代ではないのです。

ところで、人類が生まれたときからあり、将来も絶対になくならないであろう職業があります。それは、「農業」です。西小林はその環境に恵まれています。これからは、地方創生の時代です。身近にある資源を見直し、新たな視点で生かす時期に来ているのではないのでしょうか。



- 4日(火) 小児生活習慣病予防検診(5年)
- 7日(金) 1学期終業式、集団下校
- 8日(土) ~11日(火) 秋季休業
- 12日(水) 2学期終業式、集団下校
- 13日(木) ALT訪問
- 14日(金) 生きがい学級世代間交流(4年)
- 17日(月) 身体計測・視力検査(5・6年)
- 18日(火) 読み聞かせ・教育相談・クラブ
身体計測・視力検査(1・2年)
- 19日(水) 身体計測・視力検査(3・4年)
小体連陸上大会(6年)
- ※ 雨天順延 20日まで

- 20日(木) 持久走前健康調査提出日
- 21日(金) 参観日※オープンスクール
- 24日(月) 秋の遠足
- 1・2年~緑が丘公園
- 3・4年~御池青少年自然の家
- 5年~宮崎(UMK、フェニックス自然動物園)
- 6年~甕岳登山
- 25日(火) 委員会活動
- 26日(水) 稲刈り・脱穀(3~6年)
- 27日(木) 低学年読書の時間
- 31日(水) 幸ヶ丘小との交流(低学年)
冬服着用開始

三世代ふれあい交流会が盛大に・・・

19日(月)の敬老の日に西小林校区の三世代ふれあい交流会が西小林校区社会福祉協議会の主催で本校の体育館で盛大に開催されました。

当日は、体育館いっぱいに元気な高齢者の方々が参加され、余興も大変盛り上がりしました。

西小林校区には、現在、75歳以上の高齢者の方が973名居住されているとのこと。西小林地区の高齢化率(65歳以上の高齢者のしめる割合)は、38.4%で小林市全体の33.1%を占めています。また、今年度の新90歳は18名、新100歳も1名おられます。昨年よりも高齢化が進んでいるということです。

本校児童を代表して6年生の**森本 誓君、山口愛紗さん、梯奈奈さん、永田琳里乃さん、徳丸 莉桜さん、小園愛海さん**が参加された高齢者の方々に西小林小の子ども達のお祝いのお手紙を一人一人に手渡しました。また、1年生の**深松そうた君、平田あいさん**にお祝いのことばを発表してもらいました。とても元気な声ではきはきと発表して、会場からも大きな拍手をいただきました。

余興は、林家とんでん平さんの落語会でした。最初は客席に降りての小噺、その次は舞台の上で手話を使った落語、それから本格的な落語でした。体育館は、音が大きく反響するので早口で話されると聞き取りにくいところがあり、少し残念でしたが皆さん、暑い中熱心に聞いておられました。その後は、南西二区茶飲ん場の「タオル人形踊り」そして、西小林青年団・どうじゃろかいの「ひつとこ踊り」でした。お面をかぶった小学生の子供たちのかわいらしい踊りに皆さん大喜びでした。どうぞ、これからも健康で長生きをしてください。

にしこばのきらきら子ども達

◇ 小林市水泳大会

7月26日に開催されました。

優勝 50m自由形 梯 奈奈(6年)

3位 6年生女子リレー

(前原佑紀、梯奈奈、小園愛海、永田琳里乃)

◇ 西諸県地区理科サイエンスコンクール 自由研究

金賞 木村 安智依(6年)

「液体はなんでも凍るのか」

金賞 古川 慧杜(5年)

「色による温度の変化」



◇ 西幸十五夜祭りポスタ

最優秀 永田琳里乃(6年)

※ ポスターになって貼り出されるそうです。

「茶飲ん場での活動」が大人気!

毎週第1水曜日に、西小林小の校内で「茶のん場」が開催されています。9月は社会教育課の方が2名地域ボランティアの活動の様子を取材にこられました。毎月、子供たちがとても楽しみにしています。いつもだったら宿題を終わらせてから参加することになっていますが、この日だけは先に参加してもいいことにしたら、子供たちがどっと押し寄せて大変な賑わいでした。あさりの貝殻や端布など身近な材料を使って、とてもきれいなキーホルダーが出来上がりました。職員会議の最中でしたが、子供たちが喜んで見せに来たので、私もおじゃまして写真を撮らせていただきました。

いつも、身近にあるものを活用して様々なものを作られています。そのアイデアと手先の器用さや驚くばかりです。毎月、子供が楽しみにしているのも分かりますね。



「家庭教育の指針」から その1

全国連合退職校長会の50周年記念リーフレットをいただきました。その内容がとてもよかったので、ここに紹介します。家庭教育の指針として4つのカテゴリーに分かれています。今回はその1として「自分自身のこと」です。

○ 「善悪を判断する力と自分に嘘をつかない心を育てること」

保護者は、“目立たない誠” “小さな嘘”を見逃さないことが大切です。「ほめるべき時にほめる」「しかるべき時にしかる」努力を怠ってはなりません。

○ 「生活のために必要な習慣を身につけるようにすること」

歯磨き、洗面、入浴等から食事、睡眠など健全な生活習慣をもつようにすることは、なんといっても家庭の役割です。

○ 「自分でできることは自分でやり、責任をもつようにすること」

子供自身の“くり返しチャレンジ”が必要です。親・保護者の“認める、励ます態度”が鍵になります。